

<審判上の注意事項>

茨城県小学生バレーボール連盟審判委員会

1. トスについて
 - (1) トスは記録席の前で試合開始11分前に行う。(前の試合が終了し、記録確認後5分)
 - (2) トスはチームキャプテンが立ち会い、キャプテンマークのユニホームを着用していること。
 2. 公式練習は試合開始10分前より、両チーム合同で行う場合は6分間とし、単独で行う場合は3分間とする。
 3. ペナルティー・エリアは、審判台に向かってチーム・ベンチの左右端の後方に位置する。
 4. フリーポジション(位置による打順ではない)のため、サービス順は特に間違えないようチーム役員も充分注意すること
 5. 試合終了後、両チームはすみやかにベンチを空けること。前の試合の両チームがベンチを出るまでは次のチームはコートに入ることはできない。なお、試合間のチーム練習はネットを使用せず、他のコートや観客席などへボールが散らばることがないように注意する。
 6. 監督は、試合を妨害しない限り、フリーゾーン内ならばアタックラインの延長線上からウォーム・アップエリアまでの範囲において、一時的にベンチを離れてコート上の選手に指示を与えてもよい。ただし、ラリー中はベンチに座らなければならない。
 7. 試合中、選手は小さなタオルを身につけ、少々の床の汗は自分でふくこと。
 8. 汗によるボール並びにユニフォームの交換(セット間)は、そのつど審判に申し出ること。
 9. 競技者が負傷して例外的な競技者交代をした場合、負傷した競技者は、その試合に復帰することはできない。
10. 競技者交代の手順
- (1) 競技者交代は、競技者交代ゾーン内で行わなければならない。
 - (2) 競技者交代の要求とは、正規の競技中断中に、交代競技者がコートに入る準備をして競技者交代ゾーンに入ることをいう。そうでない場合は、競技者交代は認められず、そのチームに遅延に対する罰則が適用される。競技者交代の要求は、記録員または副審によって受け付けられ、適切なブザーまたは吹笛により通告される。
 - (3) チームが、同時に2組以上の競技者交代をしようというときは、すべての交代する競技者は同時に競技者交代ゾーンに出向かなければならない。この場合、同一の要求と見なされ、交代は1組ずつ連続して行わなければならない。
11. 競技中に地震による揺れが確認された場合、ラリーを中断して選手をベンチに戻す。その後の避難等については会場係員の指示に従う。中断後の競技再開については、公益財団法人日本バレーボール協会の6人制競技規則に基づいて行う。